



# 新臨床薬理センター紹介

2013年12月24日より、臨床薬理センター（CRC Unit）が新しくなりました。新しい移転先は、外来棟1階、正面玄関に入って左手奥の17番窓口となっております。訪問の際には、外来棟1階17番窓口までお越しください。

今後も愛媛大学医学部附属病院における治験がより円滑に実施できるようサポートしていきたいと思っております。また、治験以外にも自主臨床研究における新規申請の窓口となっておりますので、お気軽にご相談ください。



## 新メンバー紹介

CRC（看護師長）  
いまい さなえ  
今井 早苗

2013年4月1日付で臨床薬理センターに配置転換となりました。戸惑いの毎日ですが、これまでの経験を生かしながら業務の円滑化をめざし努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



CRC（看護師）  
ふじた あけみ  
藤田 あけみ

2013年9月2日より臨床薬理センターで勤務しております。今はまだ目の前のことで精一杯ですが、広い視野を持って治験をスムーズに進められるように頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

CRC（薬剤師）  
やました のぼる  
山下 登

2014年1月6日より臨床薬理センターで勤務させて頂くことになりました。まだまだわからないことだらけで戸惑うことも多いですが、治験が円滑に進められるように努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

CRC（薬剤師）  
わだ しょうこ  
和田 昌子

2013年1月1日付で薬剤部より臨床薬理センターへ異動となりました。1年が経過し、CRCの業務に慣れてきた部分もありますが、まだ至らぬ点もありますので、さらに精進していけたらと思います。よろしくお願いいたします。

事務員  
みやもと あきこ  
宮本 明子

2013年11月1日から臨床薬理センターで勤務しております。センターでの業務を円滑にこなせるよう努力して、皆様のお役に立てるようになります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 臨床薬理センターへのご意見・ご要望などをお寄せください

愛媛大学医学部附属病院 臨床薬理センター

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

TEL：089-960-5914. 5920（ダイヤルイン）

FAX：089-960-5910

ホームページ <http://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/clinicalresearch/>

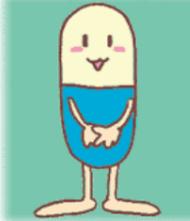


愛媛大学医学部附属病院

2014.3.25

## 臨床薬理センター News

第11号



## 第12回 瀬戸内国際臨床試験カンファレンス開催報告



挨拶：野元 正弘 先生

平成25年10月5日（土）、6日（日）に松山ワシントンホテルプラザにて第12回 瀬戸内国際臨床試験カンファレンスと第32回臨床薬理阿蘇九重カンファレンスを合同で開催いたしました。

本カンファレンスは、近年の治療薬開発と薬物治療を中心に学会とは異なる気楽な勉強会を目指しており、今回は「臨床試験における産官学連携の推進」と「Adaptive Clinical Trials」をテーマにとりあげました。

当日は全国の製薬企業、CRO、SMO、医療機関から約70名の方が参加され、質疑応答の時間では白熱した議論が展開されるなど、大盛況のうちに終了いたしました。

\*プログラム 10/5

テーマ1【臨床試験における産官学連携の推進】

- 宮田 俊男（日本医療政策機構）  
「レギュラトリーサイエンスにおける産官学連携の推進」
- 青木 正志（東北大学大学院医学系研究科 神経内科）  
「アカデミアの立場から」
- 森豊 隆志（東京大学医学部附属病院）  
「アカデミアの立場から」
- 岩崎 幸司（武田薬品工業株式会社）  
「企業の立場から」
- 岩崎 甫（山梨大学大学院 臨床研究開発講座）  
「血糖モニターの歴史（臨床試験の歴史を含めて）」

テーマ2【Adaptive Clinical Trials】

- 折笠 秀樹（富山大学大学院医学薬学研究部 バイオ統計学・臨床疫学）  
「Adaptive Design in Clinical Trials」
- Roger J Lewis（Department of Emergency Medicine at Harbor-UCLA Medical Center）  
「Adaptive Clinical Trials」

\*プログラム 10/6

- 岩城 寛尚（愛媛大学大学院医学系研究科 薬物療法・神経内科学）  
「慢性炎症性脱髄性多発神経炎に対する静注免疫グロブリンの新規投与法の検討」
- 吉原 達也（九州大学大学院医学研究院臨床薬理学分野）  
「ALDH2遺伝子多型がニトログリセリンの単回および長期投与効果に及ぼす影響に関する日本人健康成人を対象としたランダム化クロスオーバー試験」
- 深江 真登（九州大学大学院薬学府）  
「アセプトロールの母集団薬物動態解析に基づくSLCO2B1遺伝子多型、民族間（日本人、韓国人）における差異に関する考察」
- 浜崎 一（大分大学医学部臨床薬理学）  
「診療科における疾患情報データベース構築の1例」
- 小手川 勤（大分大学医学部臨床薬理学）  
「研究者主導の東アジア多施設共同臨床試験における実務的課題と今後の方策 - 日中韓共同研究の経験をふまえて -」
- 和田 昌子（愛媛大学医学部附属病院）  
「治験参加による機会効果が糖尿病患者HbA1cに及ぼす影響」
- 飯山 達雄（高知大学医学部附属病院）  
「医師主導臨床研究におけるデータセンター構築の取り組み-課題と展望」

## 市民公開講座「病気とくすり」 開催報告

恒例となりました市民公開講座「病気とくすり」を、平成25年6月23日（日）13時半から、松山市湊町のいよてつ高島屋9階ローズホールにて開催いたしました。

今回の講座は、「もっと知りたい最新治療」をテーマに愛媛大学医学部附属病院 臨床薬理センターの永井将弘センター長に「のみぐすりだけじゃないよ！パーキンソン病治療」、愛媛大学医学部附属病院 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学の大蔵隆文先生に「高血圧はサイレントキラー、薬で撃退」、愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学の日浅陽一先生に「これからの肝炎、肝がんの治療」と題して、ご講演いただきました。写真や動画を用いた説明は大変わかりやすく、みなさん熱心に聴講されました。

残念ながらご参加いただけなかった方は、「愛大病院治験ネットワーク（愛称：愛ネットワーク）」のホームページにムービーを公開予定ですので、ご覧下さい。過去に開催された公開講座の映像もご覧いただけます。

〈アドレス〉 <http://www.ehime-network.com/public/movie.html>



永井 将弘先生



大蔵 隆文先生



日浅 陽一先生

## 平成25年度治験実施優秀者表彰

愛媛大学医学部附属病院における治験において、多くの症例を実施した担当医師を表彰する「治験実施優秀者表彰」（治験実施優秀者の病院長表彰制度）の平成25年度の表彰者は、平成24年度に5症例以上の治験を実施した岩城寛尚（薬物療法・神経内科）、辻井智明（薬物療法・神経内科）、永井啓行（第二内科）、西川典子（薬物療法・神経内科）、日浅陽一（第三内科）の計5名となりました（野元正弘は表彰者制度の提唱者であるため辞退）。（五十音順敬称略）

また、今年度より導入された部門賞においては、検査部（代表者：西宮達也）（敬称略）が表彰となりました。2013年5月22日に表彰式が行われ、檜垣實男病院長から、表彰状が授与されました。



前列（左から）  
西宮 達也（検査部）  
日浅 陽一（第三内科）  
檜垣 實男（病院長）  
西川 典子（薬物療法・神経内科）

後列（左から）  
永井 将弘（臨床薬理センター長）  
岩城 寛尚（薬物療法・神経内科）  
永井 啓行（第二内科）  
辻井 智明（薬物療法・神経内科）  
（敬称略）

## 創薬・育薬セミナー 開催報告

### 第21回 創薬・育薬セミナー

2013年5月10日（金）18時00分より、愛媛大学医学部附属病院において、第21回創薬・育薬セミナーを開催いたしました。

今回のセミナーは、MSD株式会社 グローバル研究開発本部 ファーマコビジランス領域の原満良先生を講師にお招きして、「臨床試験における安全性情報の取り扱い—あなたならどうする？」というテーマでご講演いただきました。これから治験を始める先生方、現在臨床試験・臨床研究に関わっておられる多くの先生方が出席され、熱心に傾聴されていました。このように当院では、院内・院外講師によるセミナーを開催し、先生方の臨床研究・臨床試験に関する知識の向上に努めております。

\*臨床研究・臨床試験の責任医師となるには、申請時点でセミナー（創薬・育薬セミナー等）を受講済みであり、有効期限内であることが必須条件の一つです。なお、セミナー受講の有効期限は最終受講時より2年後の年度末までとなっております。



原 満良先生

## 臨床研究セミナー 開催報告

### 第1回 臨床研究セミナー

2013年10月1日（火）17時00分より、愛媛大学医学部附属病院において、第1回臨床研究セミナーを開催いたしました。

今回のセミナーは、当大学医学部薬物療法・神経内科学の野元正弘教授による「採用される臨床研究の計画と方法～プロトコルの作成と学内手続き～」をテーマとした講演に続き、学外講師としてお招きした、神戸大学大学院法学研究科の丸山英二教授に「臨床研究の同意書における『包括同意』の現状と課題」をテーマにご講演いただきました。今回は、主にIRB委員、臨床研究専門委員会委員、各臨床研究レビュアーの先生方をはじめ多くの先生方の出席がありました。今後もこのようなセミナーを開催していく予定ですので、臨床研究を実施したいと考えておられる先生方、興味をお持ちのメディカルの皆様のご参加をお待ちしております。



野元 正弘先生



丸山 英二先生